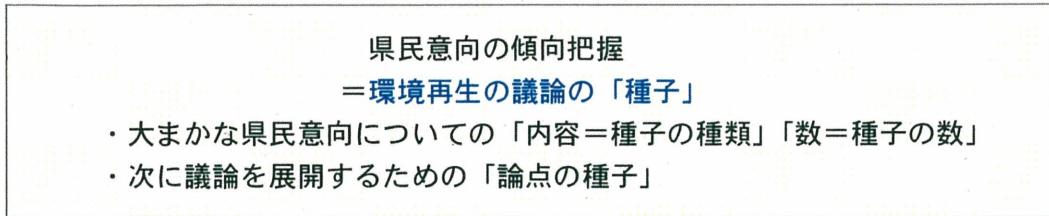


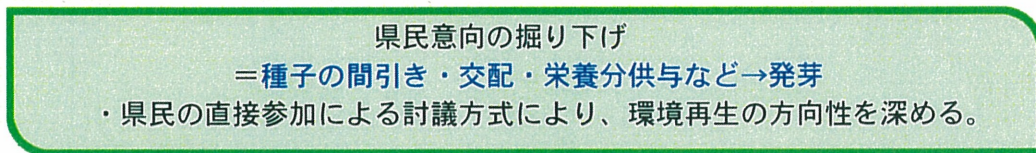
青森・岩手県境不法投棄現場の環境再生に関する県民ワークショップについて

1 環境再生計画策定の全体フローにおける県民ワークショップの位置づけ・役割

- ① 県インターネット調査、県境再生総合啓発プログラム事業アンケート、北海道大学調査、八戸工業大学調査、田子町意見集約



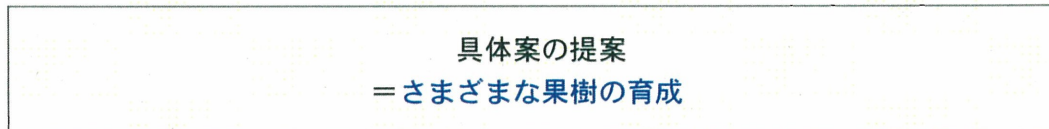
- ② 県民ワークショップ



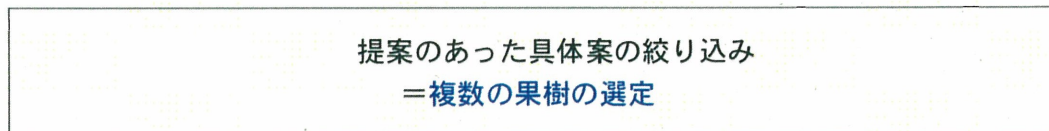
環境再生の具体案（形）をつくるのは専門家の役割であるが、そのように形を規定する言葉、形への変換作用を持つ言葉を紡ぎ出していく過程として、ワークショップの役割は位置づけられる。→キーワード、概念的なものの整理＝WSのoutput



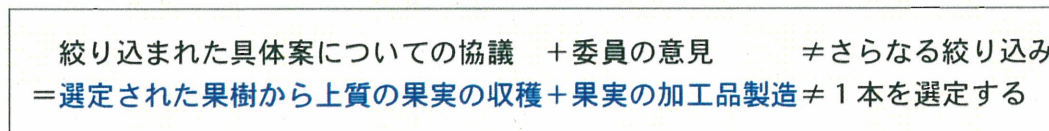
- ③ 全国の専門家等の提案募集



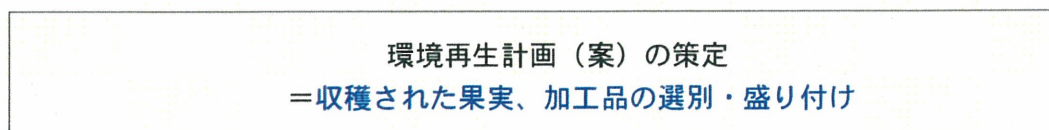
- ④ 環境再生提案・審査部会



- ⑤ 協議会



- ⑥ 県



2 ワークショップの組立等

(1) 開催日程・場所

① 9月 7日 (日)

八戸市内 (三八、上北、下北地域在住者対象)

② 9月 15日 (月)

青森市内 (東青、中南、西北地域在住者対象)

(2) 編 成

1会場：6人×3グループ＝18名

各グループにファシリテーター1名を配置

” 職員2名を配置 (補助役)

(3) 参加者

公募による

① 県HP

② 報道機関への投げ込み

③ 県広報 (8月メールマガジン)

④ 公募ちらし (各県民局へ設置)

(4) ファシリテーター

ファシリテーターとしての経験や実績等がある方を中心に人選し、依頼する。

(5) プログラム

以下の点を基に、具体的な進め方、成果のまとめ方については、ファシリテーターの手法に負う要素も大きいため、今後、協議会の意見を踏まえ、ファシリテーターと組み立てていく。

① 環境再生の県民意向に関する各種調査結果の概要 (資料5-2)

② 県民ワークショップの議論の留意点 (資料5-3)